

コインランドリーの大型洗濯機の洗浄性能について
 ——浴比と洗浄率の関係を中心として——
 昭和女大家政 〇小ノ澤治子 鈴木英子

目的 近年、コインランドリーが急速に普及し、その利用者も学生をはじめとし、洗濯機を所有している主婦の利用も高いことが、アンケート調査の結果わかった。しかし、小型洗濯機には、1回に洗濯できる洗濯物重量や、洗剤の投入量などの表示があるが、大型洗濯機については、それらの表示がほとんど見られず、洗濯機の種類も多し。そのためか大型洗濯機は、汚れ落ちが悪いとの感想が見受けられた。そこで、これら大型洗濯機の洗浄特性を浴比と洗浄率・すすぎ率・脱水率および洗剤濃度と洗浄率・すすぎ率から求め、大型洗濯機の有効な使用条件を明らかにしたい。

方法 まず、界面活性剤を用い、その濃度からコインランドリーに設置されている洗濯機の水量を測定し、市販洗剤を用い洗剤濃度 0.13, 0.15, 0.20%、浴比 1:15, 20, 30 (浴比の調整は補助布を用いた) における洗浄率を油化協法の汚染布を用いて求めた。すすぎ率は、すすぎ液中の界面活性剤の量をフェロイン試薬法によって求め、脱水率は、脱水後の補助布の重量から算出した。

結果 洗浄率については、小型洗濯機に比較して大型洗濯機の洗浄率は低いものがあり攪拌型であるのに浴比 1:15 では洗浄率が低く、洗浄率のバラツキも大きかった。すすぎ率は、すすぎ回数と使用水の温度によって差が生じた。脱水率は、洗濯物量が増加すると脱水率が低下する機種があり、コインランドリーに設置されている洗濯機の機種、洗濯用水の温度により洗浄率、すすぎ率、脱水率に差を生じたことから、高い洗浄効率が得られる洗濯条件の表示の必要性を痛感した。